

不眠症に対する薬剤選択フォーミュラリ

基本指針

デエビゴ錠5mgを第1推奨薬とする。

悪夢などの副作用等で継続困難な場合は、クービビック錠または、エスゾピクロン錠への変更を検討する。

	第1推奨薬	第2推奨薬	
商品名 (成分名)	デエビゴ錠 (レンボレキサント)	クービビック錠 (ダリドレキサント)	エスゾピクロン錠 (エスゾピクロン)
開始用量	5mg(5mg 1錠)	50mg(25mg 2錠)	2mg(1mg 2錠)
上限量 (1日量)	10mg	50mg	3mg(高齢者2mg)
薬価 (開始用量)	69.5円	113.8円	13.4円
備考	5mgからの開始を推奨する。 CYP3A阻害薬と併用する場合は 2.5mgへ減量する。	強力なCYP3A阻害薬と併用 禁忌であるため注意する。 中等度のCYP3A阻害薬と併 用時は25mgへ減量する。	従来のベンゾジアゼピン系薬剤 と比較し、エスゾピクロン錠は、 比較的安全とされているが転 倒・せん妄に注意する。 高齢者は1mgから開始する。
効果不十分 の場合	忍容性に注意し7.5mg、10mgと増 量 または、薬剤変更を検討	エスゾピクロンの追加を検討 または、デエビゴへの変更	忍容性に注意し、3mgへ増量 または、他剤との併用を検討 (高齢者は2mgまでとする)
忍容性不十分 の場合	第1推奨薬のデエビゴにより、悪夢や頭痛などの副作用が現れた場合は、クービビックやエスゾピクロンへの変更を検討する。		

薬物相互作用に注意すべき薬剤(院内頻用薬剤抜粋)

・強力なCYP3A阻害薬

イトラコナゾール、ボリコナゾール(ブイフェンド)、ポサコナゾール(ノクサフィル)、クラリスロマイシン、リトナビル(パキロビッド)など

・中等度のCYP3A阻害薬

フルコナゾール、イサブコナゾール(クレセンバ)、エリスロマイシン、ベラパミル、ジルチアゼム、シプロフロキサシン(シプロキサン)、シクロスポリン、アバコパン(タブネオス)など

肝障害時の薬剤選択

デエビゴ、クービビック、エスゾピクロンはそれぞれ半減期の延長等が見られるため減量するなどの調整を検討する。

Child-Pugh分類にてCに該当する場合は、デエビゴやクービビックは禁忌となる。そのため、重度の肝障害時における睡眠薬の使用は、個別に検討する。

参考:

各薬剤添付文書

Takaesuet. al., Front. Psychiatry (2023)

Kishi et. al., Transl. Psychiatry(2025)

2026年1月 薬剤部 医薬品情報管理室(6480)、精神科
2026年5月 薬価を改訂